

生活者・働く者の視点で地道な活動で政治を変える! 連合滋賀議員団会議 第27回総会・研修会を開催!

連合滋賀議員団会議は、第27回定期総会を7月22日(土)琵琶湖ホテルにおいて、議員団会議会員とOB会員、連合滋賀役員、地協役員あわせて81名の参加で開催しました。

林好男幹事(栗東市議会議員)の司会で開会され、議長に中川雅史氏(米原市議会議員)を選出し、今江政彦議員団会議会長の挨拶に続き、来賓の池内正博連合滋賀副会長、川端達夫衆議院議員、田島一成衆議院議員より挨拶を受けました。

総会では、2016年度活動報告、会計報告、会計監査報告が承認された後、2017年度活動方針、予算、



慶應義塾大学 井手英策教授

役員の選出等の全ての議案が全会一致で確認し、ガンパロー三唱で全員の団結を図りました。研修会では、慶應義塾大学経済学部の井



ガンパロー三唱で団結を行う参加者

手英策教授から「All for Allの財政改革～頼り合える社会をめざして～」と題し、講演いただきました。

「全員が負担し、全員にサービスを給付するという分配革命(All for All)が、結果的に格差を解消し、成長力を強め、財政を再建し、生まれた時の運・不運で人生が決まる社会を終わらせる。誰もが不安から解き放たれる社会、後ろめたさを最小にして尊厳を最大にする「頼り合える社会」にできる。」とお話いただきました。

しっかりと、法改正の知識を身につけ取り組もう! 「職場からはじめよう運動」学習会を開催!!

連合では「職場から始めよう運動」と称し、正規・非正規の枠を超え、すべての働く者の処遇改善を目指し、非正規の仲間づくりを進める運動に取り組んでいます。7月24日(月)、ライズヴィル都賀山にて「職場から始めよう運動」を進めるための学習会を開催しました。

学習会では、連合本部非正規労働センター石田輝正局長から「職場から始めよう運動を上げよう!」と題し、現在の非正規労働者の割合・処遇の状況、実際の連合本部が集約している非正規と組織化事例のなどを紹介しながら非正規の仲間づくりの必要性について説明されました。

また、滋賀での非正規の仲間づくりの事例紹介として情報労連NTT労組滋賀分会の蒲生二三男副会長から組織での取り組みなどについて紹介いただきました。

その後、運動を進めるための課題・解決策などについてグループディスカッションを行い、グループ発表では、「無期転換ルールについて、労働組合役員でも理解している人が少ないのではないか。」という質問があり、石田局長から、「悪質な雇止めを防ぐためにも、労働者も無期転換ルールについてしっかりと中身を理解するよう心がけてほしい。」と述べられました。



連合非正規労働センター 石田輝正局長

学習会にて使用した
有期労働契約ハンドブック
※ 連合ホームページでダウンロードできます!

連合 有期労働契約ハンドブック 検索



連 合 滋 賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2017年8月25日
連合滋賀 第277号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・藤本 裕司
(定価 1部6円)
印刷 ユメディア株式会社

「働くことを軸とする安心社会」に向けた政策実現を! 2018年度連合滋賀「政策・制度要求と提言」

討論集会 議員団からも意見続出!

滋賀県に対する2018年度に向けた「政策・制度要求と提言」の内容を討議する討論集会を7月21日(水)、草津市立市民交流プラザ大会議室にて開催しました。

討論集会には各構成組織、地域協議会、労働者福祉協議会からの代表、連合滋賀議員団の全体で91名の参加となり、様々な意見が討議されました。

2018年度の素案の作成については、政策委員会を中心に昨年度の回答を踏まえ、県の部局協議、総括協議における意見交換を重要視する立場から要求項目を精査し、11課題50項目のとりまとめを行いました。

集会の冒頭、主催者を代表して連合滋賀山田会長より挨拶を行い、上田事務局長から「2018年度連合の重点政策」について説明がなされました。続いて連合滋賀「2018年度政策・制度要求と提言(素案)」について、池内政策委員会副委員長、山本・伴・夏原・内海・堀江・元田・川端政策委員、小澤副事務局長が提案説明を行いました。

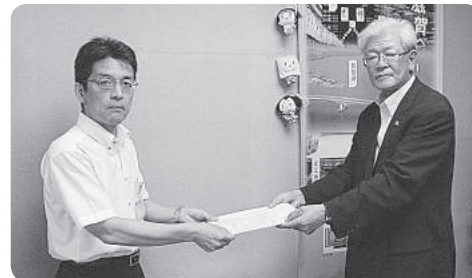
提案に対する討論では、①県において「手話言語条例」の制定を要請 ②部落差別解消推進法に基づく取り組みの明記 ③性的マイノリティーの生徒に対する教育現場での対応 ④教職員の長時間労働について ⑤年次有給休暇の取得促進 ⑥外国人労働者の子どもたちへの就学支援 ⑦国の経営所得安定対策が廃止になる中での農業法人への支援 ⑧鳥獣害対策で、特にニホンザル対策について ⑨北陸新幹線敦賀以西ルートに関して湖西線の並行在来線化阻止を要求等の意見が出されました。

県に提出 11課題50項目を要求!

2018年に向けた連合滋賀「政策・制度要求と提言」について討論集会にて議論された意見などを含め、修正を行い、執行委員会にて最終確認し、8月7日(月)滋賀県に提出しました。

今回、提出した内容は、雇用の安定と地域経済の活性化などの労働政策や、福祉・環境・教育など多岐にわたるもので、提出にあたって江島宏治商工観光労働部長に「要求と提言」の概要および連合滋賀の考え方や重点政策について説明しました。

10月の滋賀県との部局協議では、議論を豊富化するために各部局での重点項目を設定し、連合滋賀の政策委員・執行委員を中心に活発な意見交換を行います。



要求書の提出
左：江島商工観光労働部長 右：上田連合滋賀事務局長
(場所：滋賀県庁商工観光労働部長室)

びわ湖を超える、仲間の輪をつくろう！ 近畿ブロック第8回ユースラリー滋賀県で開催！



第8回ユースラリー実行委員長
連合滋賀青年委員長
服部 彰



1日目：ウォークラリーの様子



2日目：イカダレースの様子



3日目：スタントの様子

連合近畿ブロックユースラリー実行委員会は、近畿ブロック間の仲間の交流・ネットワークづくり、次世代を担うリーダーの人材育成や労働運動への理解・意識向上などを目的に、3年に1度開催している「ユースラリー」を滋賀県高島市の白浜荘にて、「めざせ!!びわ湖を超える仲間の輪～環境づくりは身滋賀(みじか)から～」というテーマを掲げ、7月14日から3日間の日程で開催し、近畿2府4県から青年層103名が参加しました。

初日、開会式を行い、服部彰実行委員長(連合滋賀青年委員長)の「この3日間で、日本一大きなびわ湖を超える仲間の輪をつくろう!」という主催者挨拶でスタートし、アイスブレイク、班の旗づくりを行った後、びわ湖畔に設置されたミッションを班で協力しクリアしていくウォ

ークラリーを行い、夜のウェルカムパーティーでは、班の仲間に聞きにくい事などをくじにし、答えてもらったり、班の旗の由来を発表してもらったりなどして交流を深めました。

2日目は日中、ミニ運動会、びわ湖でのイカダづくりレースと汗を流し、最後の夜のナイトイベントでは、服部彰実行委員長を助けるために参加者全員が一致団結するイベントを行い、初日の開会式では緊張していた参加者みんなが、笑い声の絶えない「仲間の輪」となっていました。

最終日はスタント発表会を行い、今回のテーマや、ユースラリーで得たものなどを題材に、どの班も個性的な発表を披露し、この3日間で培った「仲間の輪」の集大成が見える発表会となりました。

応援してね!

連合公式キャラクター ユニオニオン

ゆるキャラグランプリ 2017

初立候補!

投票期間 8/10(火) 10:00 - 11/10(金) 18:00

スマホ・携帯・パソコンから 毎日投票お願いします!

男女がともに輝ける社会を目指して!! 連合滋賀女性委員会 滋賀労働局雇用環境・均等室との意見交換会

連合滋賀女性委員会では、男女平等月間の取り組みのひとつとして、滋賀労働局雇用環境・均等室へ「雇用における男女平等に関する要請」を7月5日に行い、男性の育児休業取得促進、介護休業、ハラスメント等の施策についての事業主・労働者への周知などについて要請し、滋賀労働局雇用環境・均等室の取組内容について説明いただきました。

意見交換では、女性委員会から自分達の職場での現状・経験から、「介護はどんな制度があるのかなど知っている人が少ない。介護制度の周知にもっと力を入れていかないと制度を利用する方が増えないと思う。」「労働相談でのハラスメントに対する対応で、どういった対処が適切であるか。」など多岐にわたる意見・質問が飛び交いました。

最後には、「男女がともに仕事や家事・育児・介護を両立しながら働き続けることのできる社会の実現」という同じ目標に向け、今後も連携を図り、「雇用における男女平等」および「働く女性の活躍推進」に向けた取り組みと一緒に進めることを確認しました。



要請書の受け渡し
右：小森女性副委員長 左：平井雇用環境・均等室長
(場所：滋賀労働局 会議室)

忘れないこと、語り継ぐこと、繰り返さないこと...

原爆展 in 滋賀

連合近畿ブロック主催で行っている原爆展を8月1日からの3日間、イオンモール草津2階イオンホールにて開催し、のべ991名の方々に来場いただきました。

今年は、原爆資料のパネル展示とともに、東近江市にある滋賀県平和祈念館から、戦争中に使用された鉄かぶとや、出征たすき、国防婦人会たすき、防空ずきん、臨時召集令状のレプリカをお借りし展示しました。

子ども連れのご家族など多くの方が訪れ、広島・長崎に原爆が投下されて今年で72年...、遠いようで近い過去の戦争・原爆の悲惨さについてじっくりと展示物をご覧になりながら考えておられました。

連合の平和行動の紹介するコーナーでは、広島の平和集会受到に献納している「折鶴」をつくっていただけるよう折り紙なども用意し、展示物をご覧になった後、ひとつ、ふたつと平和を祈る気持ちを込め鶴を折っていかれました。



会場の様子(場所：イオンモール草津)



展示会へ案内するユニオニオンくん



戦時中に使用された物の展示



千羽鶴を折る来場者